大仙市立中仙小学校　学校報

輝く ひとみII

令和３年度 第２５号
令和３年６月２５日

学校教育目標　　ゆめにむかって えがおいっぱい みんなでチャレンジ

＜本校の子どもたちの体力は？＞

体力・運動能力テスト（新体力テスト）、真っ最中

梅雨に入り、外での活動が思うようにできない時期となりました。例年、６月は体力テストの時期です。全部で８種目ありますが、各学級で行ったり、学年をペアにして行ったりしています。その中でも難しい種目が「反復横跳び」ではないでしょうか。ところが、先日、ある１年生が、「見て！見て！」と言って、目の前で披露してくれました。正しい跳び方だったので、とてもびっくりしました。上手な跳び方は、記録の伸びにもつながります。本校では毎年のデータを蓄積し、学年が上がるごとの変化について調べ、ご家庭にお知らせしています。

３年生のシャトルラン（往復持久走）の様子　→

地域を、絆と心で結ぶ（小・中連携を通して）

水曜日、中仙中学校生徒会の４人（本校の卒業生）のお兄さん、お姉さんが来校し、６年生に「秋桜プロジェクト」について説明してくれました。これは、中学校が中心になって進めている小・中連携事業です。その内容は、「秋桜の里づくり運動」と「ＩＤＤ運動」です。このうち、「ＩＤＤ運動」とは、「いつでも、どこでも、だれにでも」を合い言葉に、地域の絆づくりを進めるあいさつ運動です。

会の最後に、全校分の「コスモスの種」と「クリアファイル」を頂戴しました。

小中学生が地域づくりのためにがんばっています。

都道府県の名物は何？

西階段を上がっていくと、２階の窓に「都道府県の名物」と大きく描かれた貼物が目に飛び込んできます。４年生が社会科の学習で調べ、まとめたものです。北は北海道から南は沖縄までを見回すと、「えっ、そうなの？」と思えるものも。本県はというと、・・・でした。かなり勉強になります。

４年生の社会科では、全国４７都道府県の位置と名前（漢字で）を覚えることが求められています。やっぱり、その拠りどころとなるのは、地図帳です。眺めているとけっこう興味深く思えてくる地図帳。ぜひ愛読書の一つにして、ボロボロになるほど開いて、眺めてほしいです。

＜耳寄り情報＞

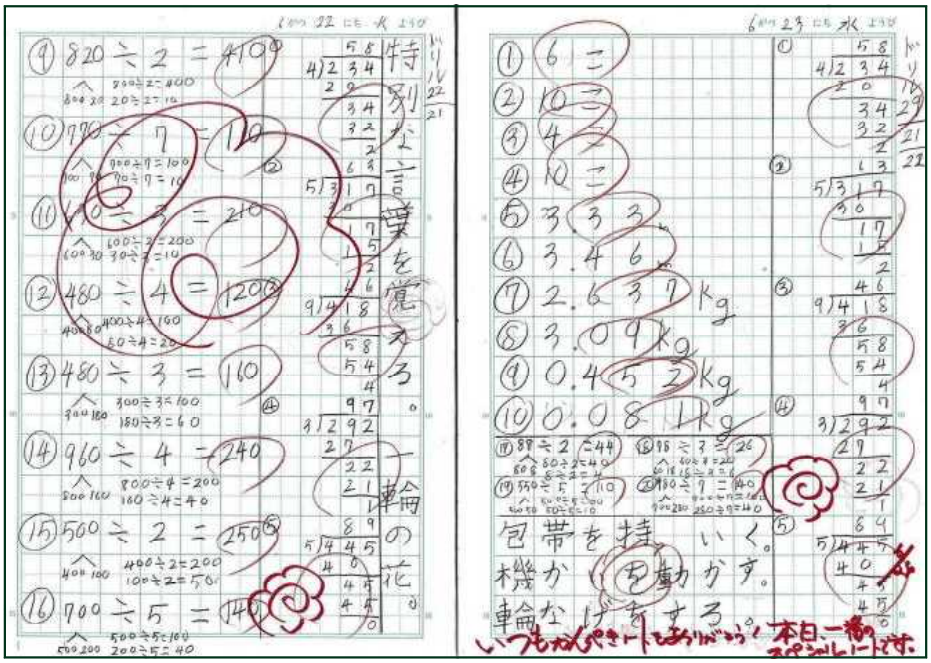
漢字を書く力は文章能力の発達や将来の認知能力維持に重要！？

今年１月、漢検協会が協力する京都大学の研究プロジェクトは、「大学生を対象とした言語能力や認知能力の調査を解析した結果、漢字の能力『読み』『書き』『意味理解』の３つの側面のうち、『書き』の力が高度な言語能力の発達と関連し、漢字を書く能力が高い人ほど、結果的に文章作成能力が高くなることが発見された」と発表しました。この研究成果は、高校生までに漢字を書く力を身に付けることが、その後の高度な言語能力の発達にとって重要であることを示唆しています。さらに、２０代前半の文章作成能力が将来アルツハイマー病による認知症の発症を抑える認知予備能の指標になるとした海外の研究をもとに、学童期の漢字を書く力が老年期の認知能力維持に影響を及ぼす可能性についても言及しました。

漢字や文章を手書きすることは、楽しいだけでなく、皆さんの将来に役立つ力になるかもしれません。

漢検ジャーナル Vol.32 から

＜一人勉強ノートの紹介＞



四年　佐々木倖輝（こうき）さんのノートです。倖輝さんのノートは、文字の丁寧さに定評あり。ずっと以前から、いつでも丁寧です。それに加えて、ノート使い、マス使いがとても上手です。だから、内容がたくさんですが、とてもスッキリしていて見やすいです。お手本になるノートですね。